

インパクト投資をめぐる潜在的な課題・論点

2020年6月18日

- ① インパクト投資の目的と定義
- ② 定義に関連して、期待リターン水準(インパクトとリターンの関係;GBの利回りが下がらないことを踏まえると、本当にリスク・リターン・インパクトの3次元になっているのか?)
- ③ 厳密な「追加性」要件の要否
- ④ インパクト投資:適切な金融プロダクト(上場 vs 非上場、デッド vs エクイティー)
- ⑤ 推進にあたってはインパクト投資の多様性尊重なのかvs収斂・標準化なのか
- ⑥ インパクト投資とSDGsとの関係(2030年までの話だけではない)
- ⑦ 従来から実践されている日本企業の社会課題を意識した行動・取組の評価と統合・差別化の要否
- ⑧ インパクト評価(本当の意味でのインパクト評価は可能か、ネガティブインパクトの管理・軽減の要否、評価の方法・ツールの乱立 vs 収斂、管理・評価のコスト負担問題、評価の公表vs非公表、セカンドオピニオン・第三者評価の要否、認証制度の要否、異なる事業・企業の評価の横並び評価の可能性(comparability))
- ⑨ インパクト投資を行う企業の組織評価の必要性有無
- ⑩ インパクト投資の対象(企業・金融機関レベル、事業・個別金融商品レベル)
- ⑪ 企業活動のどの部分をインパクト投資対象として認めるのか(ノンコアビジネスでも?)
- ⑫ 企業経営者目線から見たインパクト投資の課題・留意点とは何か。
- ⑬ 官民連携(受託者責任の範囲・定義、金融監督行政、政府によるモニタリングの要否、ブレンディッドファイナンス他)
- ⑭ 国内インパクト投資と海外事業のインパクト投資(重点の差、海外のインパクト投資にどれくらい取り組むべきか)、
- ⑮ 地域金融機関の取組、地方創生・地方社会課題解決
- ⑯ インパクト投資の対象;環境課題と非環境(社会課題)
- ⑰ 国内課題のインパクト投資の重点(日本の社会課題のプライオリティ・マテリアリティー)
- ⑱ インパクト投資推進のためには、いくつかの国際的な取り組み以外に、国内で何らかの制度・ガイドライン・業界標準が必要か、それとも多様性が重要なのか?
- ⑲ ポストコロナ時代 インパクト投資推進の観点から何を留意すべきか?(新たな社会課題を意識するのか、既存課題が重要なのか)、既存の社会課題が劣後、どう考えるか。
- ⑳ グローバルなインパクト投資の潮流との日本のインパクト投資とのアライメント、接続、連携それとも日本独自の進化?
- ㉑ 受託者責任の内容。サステナビリティの考慮に関し、投資家の責任となる内容・範囲はどういうものか。
- ㉒ 様々な課題のうち、この勉強会では特に何を議論するのか。勉強会の今後への期待。